

―豊かなこころを育み

文化を創造するまち―

文化振興について思う



播磨町長

佐伯 忠良

日中は汗ばむ陽気になってきました。住民の皆様には、ご健勝にてお過ごしのことと拝察いたします。

今回は、文化振興について取り上げてみました。

かつて、わがまちは文化不毛の地と皮肉気味にいわれたこともありましたが、振り返って20年前と今とはどうでしょう。

いや、その前に文化とは何かについて考えてみたいと思います。

私たちの住む社会では、人として精神的な生活にかかわるものを文化と呼び、文明とは区別されています。

文明とは、端的に表現しますと生活が便利になることです。

どうでしょう。私たちの生活はここ20年から30年、物質的には随分便利に、そして快適になりました。戦後の貧しい生活を知る者にとっては、隔世の感があります。

私たちは今、国際的にみても経済的には豊かな生活を享受していますが、それだけに経済に偏った考えが深く根を下ろしていることへの反省から、心の豊かさが求め

られてきています。

地方政治の中で、文化の振興が取り上げられるのも、こうした考えによるもので、経済効果の問題からのみ発想されている今の時代だからこそ、文化を独自の立場で大切なものとしてとらえるべきでしょう。

教育、文化の振興、生きがい、健康志向に対しての施策を経済的視点から推察をして、これをムダなどといったことを、さも正論のように主張される人もいます。

考えてみますと、その施策を行うことの目的が、また視点が異なるということだと思えます。もっとも異なるところは、民間企業は商いをもって経営しているということ。これに対して公共としての行政は、税の負担と引きかえに民間の経済性、経営概念とは、いささか異なるサービスを提供していくことを使命としています。

また、公共が行うサービスには、必ずしも即効性を有さないものが多くあります。文化振興などは、その顕著な例でしょう。



文化の振興によっ

て、個々がいろんな知識や感性を養うことによって、豊かさへの実感やそれを通して社会的活動、貢献へとつながっていくことに公共としての意義があり、現在の大切な施策と

思っています。
ご意見をお待ちしています。

いまいまダイエット教室に参加しませんか

やってみよう100日間!

無理なくできる、わたし流のダイエットを、仲間といっしょにチャレンジしませんか!

毎日の生活で、楽しくからだを動かすヒントを教えます。

肥満解消を通じて、より豊かな生活をめざしましょう!

	日 程	内 容	講 師
1	6月17日(火)	100日間のチャレンジ目標をたてよう	保健師
2	6月24日(火)	つくってみようヘルシー料理	栄養士
3	7月 1日(火)	毎日の生活に運動をとりいれよう ①楽しくからだを動かすヒント	運動指導員
4	7月15日(火)	毎日の生活に運動をとりいれよう ②1カ月後どうかな?体重・体脂肪測定	運動指導員
5	8月12日(火)	毎日の生活に運動をとりいれよう ③2カ月後どうかな?体重・体脂肪測定	運動指導員
6	9月24日(水)	100日チャレンジ達成!	保健師



▶ 場 所 中央公民館 (3・4・5回目は野添コミセン)

▶ 時 間 すべて午前9時30分～11時30分

▶ 定 員 30人

▶ 申し込み・問い合わせ 6月12日(木)までに健康福祉課へ ☎0794 (35) 2362

みどりの日に多彩なイベント 約1万人が楽しむ

4月29日(祝)、大中国古代の村では、「健康福祉フェア」が開かれ、町内や近隣市町から約1万人が参加しました。

会場の健康コーナーでは、歯の健診や赤ちゃん抱っこ体験、妊婦体験、骨量測定などでにぎわい、特に歯の健診では日ごろ気になっていたり、歯の健康を、歯科医師に熱心に質問する姿が見られました。また、骨量測定では、食生活について研究している「いずみ会」のメンバーが干しエビの入ったクッキーなどをプレゼントしながら、アドバイス。

一方、福祉関連のコーナーでは、車いす体験やアイマスクを装着しての視覚障害者の感覚体験ができ、「お



▲歯は大事と実感

手伝いのコツがわかる」と評判で、たくさんの方がチャレンジしていました。

また、スポーツチャレンジコーナーに設けられた「ミニサスケ」では、テレビでおなじみの山田さんの指導もあり、子どもたちに大人気でした。

そして会場近くの野添北公園では、「緑化イベント」が開催され、訪れた人たちは種や花苗の配布、風船のプレゼント、緑の相談など緑にちなんだ催しを楽しみました。

ほかに、「グリーンウォーキング」があり、参加者たちは大古遺跡から喜瀬川沿いのウォーキングを楽しみ、さわやかな汗を流していました。



▲車いすに乗ってみました



▲赤ちゃんって重たいね



▲大人気「ミニサスケコーナー」と指導する山田氏(右)



▲点字ってこうするんだね!



▲野添北公園での紙芝居